

4 甲南高校新メニュー開発

news 地元食材でアイデアメニュー

甲南高校「食と健康」系列では、地元の特産品を使って新メニューを開発し、レストラン運営会社と連携して商品化する産学連携の取り組みが行われています。

今年はグルメ部門は「なす」、スイーツ部門は「あんこ」を使うことを条件に、3年生25人が新メニュー開発に挑み、2月29日にグランプリ3品が発表されました。

グランプリに選ばれた作品は、3月5日から新名神高速道路の土山SAや甲南PAで販売されています。



【グランプリ受賞者】

グルメ部門/田中咲奈さん「ガパオライス」(写真右)

スイーツ部門/西田萌絵さん「丁字麩入りみそあんチーズケーキ」(中央)、宮嶋祐奈さん「ほうれんそばロール」(左)

1 バレンタイン列車

news ぷらっとカフェトレイン

信楽高原鐵道のバレンタイン企画として、バレンタイン列車「ぷらっとカフェトレイン」が2月14日に運行しました。

列車内はたくさんのハートで飾り付けられ、市内で活躍する有志の音楽グループが、バレンタインにちなんだ恋愛をテーマにした曲を演奏しました。

ホットチョコレートやハート形のお菓子も振る舞われ、乗客はピンク色に染まった車内で生演奏を聴きながら、ロマンティックな列車の旅を楽しみました。



▲バレンタイン用に飾り付けられた車内での生演奏

まちなかど

2月22日は 忍者の日

Ninja Day

忍者の日である2月22日に、市立の小学校と幼稚園・保育園で忍者の日特別給食が用意されました。忍者のまちである甲賀市に愛着をもってもらうために実施され、黒米を使ったおにぎりや巻物に見立てた黒ごま入りごぼう天など、忍者にちなんだ献立が並びました。柏木小学校では、忍者装束に身を包んだ中嶋市長が児童と一緒に特別給食を楽しみ、児童らは「おにぎりおにぎり」「忍者の給食が食べられてうれしい」と喜んでいました。



▲特別給食を味わう児童

5 甲賀流忍者復活祭

news

甲賀流忍者復活祭が2月21日、忍の里プララで催され、約5500人が訪れました。

甲賀市固有の地域資源である「忍者」を広く発信するために開催され、手裏剣投げ体験や忍者パフォーマンスなどが行われました。トークセミナーでは、本物の忍者を求めて調査する「甲賀流忍者調査団 ニンジャファインダーズ」により、実在する巻物や古文書から甲賀武士五十三家の子孫が市内にお住まいであるという調査結果が発表されました。

来場者は忍者をテーマにしたショーやイベントを楽しみ、忍者の魅力を満喫していました。



▲トランポリンで忍者のように飛び上がってポーズを決める女の子

6 忍者の日

news

特別給食

忍者の日である2月22日に、市立の小学校と幼稚園・保育園で忍者の日特別給食が用意されました。

忍者のまちである甲賀市に愛着をもってもらうために実施され、黒米を使ったおにぎりや巻物に見立てた黒ごま入りごぼう天など、忍者にちなんだ献立が並びました。

2 職業講話 甲南中学校

news

将来に夢をもつために

旅客機の客室乗務員を講師に迎えた講演会が2月19日、甲南中学校で行われ、1年生約200人が受講しました。

この講演会は、キャリア学習の一環として、働く大人の生きざまに触れたり、自分の生き方を考えたりする機会として開催されたもので、国際線で活躍されている井澤慶子さんから、航空会社の仕事や体験談を聞きました。

講演の後は模擬体験が行われ、キャビンアテンダント流のあいさつや歩き方などを学びました。

講演を聞いた生徒は、「働くうえで大切なことをたくさん学ぶことができた」と振り返っていました。



▲模擬体験でキャビンアテンダント流の歩き方を学ぶ生徒



▶鈴鹿馬子唄の練習に励む児童

3 鈴鹿馬子唄学習塾

news

民謡のプロから直接指導

プロの民謡歌手から指導を受ける鈴鹿馬子唄学習塾が2月25日、山内小学校で開かれ、全校児童28人が歌い方を学びました。

この学習塾は公益財団法人あいの土山文化体育振興会の主催で毎年行われ、今年で19年目になります。民謡歌手の成世昌平さんを講師に、尺八の音に合わせて独特の節回しを練習しました。山内小学校は鈴鹿馬子唄全国大会の出場者も多く、昨年出場した児童は、「難しいけれど、頑張っ

て練習したい」と次の大会に向けて意気込んでいました。